

2. 「清流の国ぎふ回廊づくり」に向けた取組み

次の3つのステップを戦略的に展開していくことにより、各公園の活性化と「清流の国ぎふ」ブランドの確立に向け好循環を生み出します。

【ステップ1】各公園に磨きをかけ、魅力を向上

まずは「VI 1 各公園ごとの取組み」を着実に推進します。

【ステップ2】公園を核に、周辺の地域資源をつなぐ

ステップ1により、各公園が持つ特色と個性を一層際立たせるとともに、各流域の地域資源との連携を強化することによりテーマ性、ストーリー性のある誘客プロモーション圏域を形成します。

このために、次のような取組みを進めます。【「VI 1 各公園ごとの取組み ④ 地域資源をつなぐ公園づくり」から再掲】

- 公園の特色と地域の個性に対応した「清流の国ぎふ」の魅力に触れる多様な体験プログラムの提供
- 公園内における地域の観光インフォメーション機能の充実強化
- 周辺の地域資源との相互連携

【ステップ3】さらに各公園を結び、「清流の国ぎふ回廊」を形成し、国内外に向けて発信

東海環状自動車道の全線開通をはじめとする広域交通ネットワークの進展と4公園の立地優位性を最大限に発揮し、各公園を結び、世界遺産をはじめとする多様な地域資源がネットワーク化された「清流の国ぎふ回廊」を形成する拠点としての機能を担います。

このために、「清流の国ぎふ」の魅力を感じることができるような4公園統一のブランドを確立し、国内外に積極的に発信していくため、次のような取組みを進めます。

- 4公園統一の案内サインの整備、「ミナモ」を活用したシンボルマークの制作
- 多言語ポータルサイトの構築
- 各公園周辺の地域資源の情報を含む公園共通のパンフレットの制作
- 観光誘客施策と一体となった国内外へのプロモーションの展開

また、上記の施策を効果的に推進していくとともに、4公園が一層連携してプログラムやイベントの企画調整、運営スタッフの資質向上等に取り組んでいくための推進組織として県及び関係機関からなる協議会を新たに設置します。

<「清流の国ぎふ回廊づくり」に向けた取組み>

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
・ 4公園統一の案内サインの整備		→			
・ 「ミナモ」を活用したシンボルマークの制作		→			
・ 多言語ポータルサイトの構築		→			
・ 各公園周辺の地域資源の情報を含む公園共通のパンフレットの制作		→			
・ 観光誘客施策と一体となった国内外へのプロモーションの展開		→			
・ 協議会の設置、運営		→			